

日高管内

# 北海道平取養護学校

寄宿舎：有

スクールバス：無

## ■学校の基本情報

- 住所 〒055-0107 沙流郡平取町本町112番地7
- 問合せ先 TEL 01457-2-3178  
FAX 01457-2-3256  
E-mail birayo-zO@hokkaido-c.ed.jp
- 学校Webページ <http://www.birayo.hokkaido-c.ed.jp>



## ■本校の概要

- 学校教育目標  
「未来に向かい よろこびをもって生きる 子どもを育てる」
- 校訓  
「よく考え学ぶ子ども」「豊かな心をもつ子ども」  
「命と体を大切に作る子ども」



### 概要

本校は昭和53年に開校した知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校です。平成10年に高等部が設置されました。知的障がいのある生徒の学習上の特性等を踏まえ、作業学習や生活単元学習など地域資源を積極的に活用した学習により、卒業後の自立と社会参加を目指し、働く力や生活する力を養っています。寄宿舎では、集団生活を通して社会性の向上や基本的な生活習慣の定着を図っています。

## ■特色ある教育活動

### 高等部の教育目標

- ア 進んで学び行動できる生徒
- イ 場や状況に応じて、自分の気持ちを人に伝える生徒
- ウ 心と体を大切に作る生徒

### 【 多様化する生徒の状況に対応したコース制の導入 】

障がいの程度や種類が多様化している中、生徒一人一人の教育的ニーズや進路希望等に応じた教育課程の編成を目指し、令和2年度からコース制を導入しました。コースはワークコース、ライフコース、ライフベーシックコースの3つがあります。

コースでの学習は第2学年から始まり、生徒の興味・関心や自分の学び方に適したコースを選びます。コースの特徴として、「ワークコース」では、週9単位時間の作業学習があります。作業学習を中心に学習し、卒業後に向けて働く力を高めたい生徒が選択します。「ライフコース」では、週6単位時間の作業学習や週2単位時間の美術があります。学習内容をバランス良く学び、様々な学習を通して卒業後の生活を豊かにする力を身に付けたい生徒が選択します。「ライフベーシックコース」では、自立活動を主として学習し、対象の生徒は1学年から本コースで学びます。

### 【 平取町の地域資源を活用した教育活動 】

農業班は、週1回程度、地域のトマト農家やトマト選果場で作業学習を行います。農家や選果場の方から、直接指導を受け、実践的な学習を行います。総合家庭班や第1学年の作業学習では地域施設の清掃作業を行います。この他、地域の飲食店から注文を受けシール貼りや段ボール組立て等の作業も行っていきます。地域の中で働き、感謝されることを通して、働くことの意味や価値などを学びます。また、地域の保健師や歯科衛生士がゲストティーチャーとして来校したり、交流及び共同学習として平取高校の生徒と一緒に学習したりと、地域資源を活用した教育活動に取り組んでいます。



作業学習：農業班



作業学習：総合家庭班



作業学習：ものづくり班



作業学習：地域での作業  
(公民館の清掃)



高等部祭：壁画アートの制作



体育大会

### ■第1学年生徒の週時程表

【 普通学級／重複障がい学級 】

	月	火	水	木	金
1		日常生活の指導(朝のHR)			
	日常生活の指導	保健体育／自立活動			
2	保健体育／自立活動	数学	国語	国語	数学
3	作業学習	生活単元学習	生活単元学習	作業学習	作業学習
4					
5	国語	美術	HR活動	保健体育	日常生活の指導(帰りのHR)
6	音楽		日常生活の指導		
7	日常生活の指導(帰りのHR)		日常生活の指導		

※「総合的な探究の時間」は特定の時期に実施

\*登校時間 9:05(月)／8:50(火～金)

\*下校時間 15:05(月・火・木)／14:20(水)／13:35(金)

### ■教育課程の特徴

生徒一人一人の将来の生活を見据え、第1学年は共通した教育課程、第2、3学年はコースごとに教育課程を編成しています。

#### □ 作業学習

生徒の実態に応じて意欲的に取り組むことができる活動を設定します。製品を仕上げたり、地域で活動したりする中で、達成感や自己有用感などを得て、働く力や意欲、態度を育てます。1学年は週6単位時間行います。

#### □ 総合的な探究の時間

近隣校との交流及び共同学習、ALTとの交流などを通して、主体的に取り組む態度と意欲を育てます。また、現場実習を通して、社会の中での自分の役割に対する意識を高め仕事に協働的に取り組む姿勢を養います。

#### □ 自立活動

各教科等の指導内容と関連付けながら全ての教育活動の中で行います。

特にライフベーシックコースでは一人一人の生徒の障がいに応じて健康の維持・改善、コミュニケーション力の向上などを目指します。

### ■卒業後の主な進路先について(令和7年度実績)

□ 一般就労(障がい者雇用)～1名

□ 福祉的就労～11名【就労継続支援B型7名、生活介護4名】

学校Webページ

